

WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
～我がクラブの志と共に～

第40回(通算1654回)例会報告

令和6年5月24日(金)

フォーラム「青少年奉仕」

出席報告

総会員数57名(計算会員数50名)欠席9名出席率82.00%前々回修正出席率83.72%

歌/会場

私たちの生業

会場:ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間



山本雅久会長

皆さんこんにちは。本日は青少年奉仕のフォーラムです。活発な意見が頂けるようよろしくお願いします。来月7日は臨時総会の予定ですのでご出席をよろしくお願いいたします。

フォーラム「青少年奉仕」



神谷 馨ロータリー情報委員長

こんにちは。今日は青少年奉仕フォーラムです。青少年奉仕は、インターアクト、ロータリー青少年指導プログラムなどを通して若い社会人のリーダーを育てる事を主としています。

伊藤角栄委員長のもと各メンバーの闊達なご意見をよろしくお願いいたします。

フォーラムリーダー 伊藤角栄青少年奉仕委員長



青少年奉仕活動 青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援する活動

- 1、ローターアクト(18歳以上)
- 2、インターアクト(12歳から18歳までの青少年、高校生)

3、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)(14歳から30歳)

4、ロータリー青少年交換(15歳から19歳)

<ローターアクトとは> 青少年が地域社会でボランティア活動を行い、リーダーシップを発揮するプログラム

- ・専門技術及び指導能力を開発すること。
- ・他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
- ・若い人々に地域社会をはじめ世界のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
- ・提唱 RC と協力して活動にあたる機会を提供すること。
- ・ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

<インターアクトとは> 12歳から18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(インターアクター)との交流を通じて視野を広げ、国

際感覚を養っています。RCの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友達と楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身に着けます。

- ・学校や地元地域でボランティア活動をする。
- ・異文化について学び、国際親善に貢献する。
- ・学校や地元地域でリーダーシップを発揮する。
- ・楽しみながら、世界中に友達をつくる。

<ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)とは> リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい。そんな考えを実現するための第一歩となるのが「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」です。RCまたは地区が実施するこのプログラムで、若い人たちが新しい友人を作り、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨いています。

- ・コミュニケーションや問題解決のスキルを磨く。
- ・学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する。
- ・地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高めるような講演、仲間との交流を通じた学び。
- ・自分の可能性を発見し、行動へとつなげる。
- ・楽しみながら、生涯続く友情を培う。

<ロータリー青少年交換とは> 世界100か国以上で実施されているロータリー青少年交換は、RCによる支援のもと、15~19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民として自覚を養うことのできるプログラムです。

- ・自分で考え、率先して行動する力を育てる。
- ・外国語や異文化を学ぶ。
- ・海外の若者と交流し、友達をつくる。
- ・グローバルな市民になる。

1番テーブル

飯野益通会員



1) ロータリアンが青少年奉仕として実践できるものはないものがあると思いますか? またどんな方法があればいいと思いますか?



(山本会員) 青少年交換について、インバウンドで言うと豊橋市内を案内したり日本の文化を理解してもらうとか大切。言葉の理解も必要なので料理を教えるなど、生活を通じて文化を伝えたい。

(神谷会員) 留学生の受け入れ経験があります。留学生の目的や要望をしっかり聞き対応する。

JCの活動している時200人ほどの学生を連れて1週間ほどタイへ行きました。日本人を受け入れてくれる文化があるので非常に良かった。

(高井会員) 青少年交換制度の仕組みが確認できた。未成年を任される責任。危機管理が大切だと思います。準備も必要です。高校生ボランティア活動では怪我をさせるなどのトラブルもあった。

(太田会員) 季節や環境の変化によるストレス、留学生の健康管理は誰がやっているのか？おそらく地区委員会が連絡窓口になっている。留学生同士のコミュニケーションも取っている様子。受け入れる家庭は同じ世代の子供がいる家族が良いのではと思う。

(神谷会員) スマホの翻訳機能などはすごく便利。よくも悪くも言葉が全部伝わってしまうが、うまく活用すれば非常に有効。

2) 今後の豊橋ゴールデンRCでの青少年奉仕をするにはどんな活動や行動をしたら良いと考えますか。

(山本会員) 高校生・中学生を応援する活動。インターアクトクラブを作ると長く続けられ地道に活動ができると思う。まず学校を設定する。現在は桜丘高校、豊川高校が実践している。問題としては先生の時間があるかどうか。余談だが八町小学校には英語クラスがある。

(高井会員) RCC 少年野球などのスポーツ支援。ゴールデンカップを開催したい。

(神谷会員) リーダーシップ育成の1つでビジネススクールなどはどうか。最近の子供たちはゲームや与えられるものに向かう傾向が強いが、優秀な経営者は様々な書籍(例ユダヤ商法)から学び生まれている。キャリア教育。商工会議所では出前授業等の活動も行われている。

(太田会員) 被災地へ連れて行くなど、防災知識を学んだり、復興支援活動などはどうか。親と離れたところで実際に動ける人間をつくる。

(リーダー飯野) 2つの質問に対して様々な視点から面白い意見がたくさん出ました。交換留学に限らず未来の若者たちのためにできる事はいろいろあることがわかった。

2番テーブル

尾崎雅輝会員



【ロータリアンとして】

・国際奉仕やすべての委員会が青少年奉仕につながっている。青少年奉仕と国際奉仕とコラボしてやってもいいね♪ RYLAのOBOGにも活動への声をかける。

・手法はたくさんあるが、他クラブだと小学生のバレーボール環境づくりをしている。ターゲットを定め継続してい

る。スポーツでも勉強、英会話教室でも。

・3年間、絶滅危惧種を知る機会を子供たちに提供してきたが、次のステージ(例えば、朝倉川育水フォーラムへの参加する広報、地元にも絶滅危惧種があることを知ってもらう機会)を用意。社会奉仕で完結するのではなく、次につなげていく。RCC手法もあり。

・信用金庫のサッカー大会、ライオンズクラブのスポーツ大会のように存在感を高める活動。スポーツ協会の佐藤さんにもご講演に来てもらったが、積極的にどんな活動が必要とされているかネタを集めにいくことが必要。そのために接点を多く持たないといけない。

・留学生交換については、本会員からも出す土壌をつくる必要がある。

・地域社会で活躍する青少年を育てることが必要。

・ゴールデンの昔の活動の復活・再開。例えば、蛍の保全。

・ロータリアンの後ろ姿を青少年に見せる。

【どんな行動・活動】

・いじめと不登校、健康保持の課外の活動について、我々は何をしたら？

・地域社会の指導者の方々を確保

・課外活動に意欲のある教職員に兼職、副業を認め、課外活動の指導の機会を。

・課外活動を支えるクラブチームの支援。その人材確保の支援(シニア層を対象に)

・不登校の子供たちの支援に取り組む団体の講演会

3番テーブル

高橋哲也会員



1) ロータリアンが青少年奉仕として実践できるものとはどんなものがあると思いますか？又はどんな方法があればいいと思いますか？

・以前にやっていた高校生BHNWは最終的には全員で取り組むという感じではなくなりましたので、会員全員が関わるような奉仕活動が良いと思う。

・豊橋RCが豊橋ローターアクトクラブを全面支援するように、継続的に取り組めるようなことが良いと思う。

・何かに絞って時の委員長が選択して行えるような形式が良いと思う。

2) 今後の豊橋ゴールデンRCでの青少年奉仕をするには、どんな活動や行動をしたらいいか考えますか？

・530とか小学生など子供を集めたボランティア活動
・「米を与える」だけの支援ではなく「米を作ることを教える」活動

・次世代のリーダー育成を目的にしているインターアクトやローターアクト、RYLA、青少年交換留学生などの支援も良いが、恵まれない環境で生活している人への支援の方が意義ある活動になるのではないかと。

・以前に卓話をしてもらった社会福祉法人「平安寮」などの児童福祉施設に入所している子ども達を支援する活動



4 番テーブル

宮川嘉隆会員



(1) ロータリアンが青少年奉仕として実践できるものはどんなものがあると思いますか？又はどんな方法があればいいと思いますか？

加藤：安易に既存の青少年育成活動に乗るのではなく、ロータリーにしか出来ない支援に一步踏み込んでいくのはどうか。特に教育部分、さらに言えば英語・英会話は重点項目に感じる。

牧：ディスカッションをする場を与えて、思いやりを持って物事に取り組んでいくことを教えていく。意見交換をできる機会を作ってあげられれば良いと思う。

保永：日本人の心を学べる寺子屋なんてとっても良いと思います。その中で、心の悩みを抱えている子たちが、夢や希望を持てたり、現状を打開できる活動ができていけば良いのでは。

富田：青少年の子たちと一緒に日本の文化の根底にあるものを伝えていけると良いと思います。茶道とか歌舞伎とか能とか。

(2) 今後の豊橋ゴールデン RC での青少年奉仕をするには、どんな活動や行動をしたらいいかと思いませんか？

富田：子ども食堂をやっている知人がいるが、資金的に苦労しているようで、こういう活動をしている方達をバックアップするというか応援するのも RC としてできるのかな、と。そういった場所を通じて子供達と話を遊んであげたり、悩みとかそういったものを聞いてあげてケアしたりといったことも一つのきっかけになるのかな、と思います。

保永：ゴールデン RC として調整は必要だと思いますが、4 大奉仕のコラボレーションによる横の繋がりを持った事業をできると面白いと思います。

牧：心の勉強につながるような形のマナー教室というものを青少年の子供達に提供できたら良いと思います。最終的には形ではなく、知識だとかテクニックだけではなくて、その裏側にある心が学べるマナー教室なんかがあると良いと思います。

加藤：弱者に対する教育、環境により学べていない、困っている子たちに対して教育に目を向けたい。例えば英語の教育において実践的な会話ができるように、特に環境がなくて取り組めない子供達に特化して、教材や環境を支援することができたら良いと思います。

5 番テーブル

廣中雅章会員



青少年関連の行政施設やスポーツ団体などにサポート活動やスポンサー活動を行う。

例えば、こども未来館が活動している事業のサポートや世界トライアスロン大会の子ども部門事業のスポンサーなど。他に、スポーツ団体ならば格闘技・ダンスなどのステージ発表イベントのスポンサー又は、青少年を対象とした色々な競技大会に、選手でない青少年がボランティア活動で参加できる環境を創ることなど

6 番テーブル

山下 孝会員



<敬称略>

(杉浦会員)・具体的な活動という前に最近リーダーシップ自体が時代に合わない、組織化出来ていない気がする。いろいろとプログラムはあると思うが、身近な人が集まってもっと交流して、ワークショップなどで親睦しながら、ラーニングしていかないといけない。そこから青少年奉仕に繋がる。

(杉田会員)・実践に関することとしては、既にインターアクトは豊橋 RC と東 RC がやっている。ローターアクトについては豊橋 RC でやっており、豊橋の 5 ロータリーで支援して足並みを揃えている。

RYLA は以前までは長い期間高校と繋がってきており、校長や先生との懇意にできていたが、最近はそのような機会がなくなっている。少し寂しいが、企業の中には若手がいるので派遣してみてもよいのではないかと。

・数年前に青少年交換で 3 か月米国の女子高校生を受け入れたが、面白さと大変さが両方あって貴重な良い経験になっている。これはやってみないとわからない。まずはクラブが手を挙げてそれに合わせていくしかない。青少年交換は積極的に取り組むべき。

ただ、3 か月でも非常に長いし、文化も違うし、様々な学生が来るので難しいのは事実。

(本多会員)・RC において青少年奉仕のプログラムは確立されていると思うので、なかなか新たな取組みは思い浮かばないが、クラブの判断で取り組んでいけばよい。苦労の後に必ず何かがある。

以前父親が交換留学を受けていた際に、手伝ったが大変面白かった印象。特に小さい子供がいる家庭が受け入れるのは貴重な経験になる。将来、子供たちが巣立って子供部屋が空けば、夫婦で青少年交換の受入れをしてみたいと思っている。

・プログラム以外で何かやれることといえば、出前授業で中学校などに出向き職業紹介をするのは良いかと思う。今の時代、親がどんな仕事をしているのか理解していない子供が増えている。誰かが職業のことを教える必要がある。職業奉仕として RC が出前授業をやるのは良いかと思う。

(中村会員)・高校時代に学校にインターアクトクラブがあった。その時は何をやっているか？誰も教えてくれなかったのだからわからなかった。こういうことはどんどん高校生



に教えていく必要がある。青少年奉仕はロータリー以外でも、ライオンズでも JC でもやっている。やはり学校を通じて取り組んでいくのだろう。

ただ今の高校生には上下関係はなく、厳しい指導もなく、何でもすぐにハラスメントとなって過剰な反応になっている。すこし行き過ぎ感がある。

もう少し日本を変えていかないとと思う。

(白井会員)・数年前は 12 の高校と連携して青少年奉仕活動がメインの活動として非常に良かった取組みが続いていたが、いまや途切れてしまっている。この 3 年間どういふことをやったらよいかの議論があるが、やはり継続的にやるのが大切。

先生の温度差もあるし学校によっても対応が異なるが、他のクラブが何をしているのかも含めて参考にしたらよい。孫が小学校の壁新聞を毎年作成して市が主催の表彰をもらっている。さまざまな表彰の中に南 RC の名前があった。また子供相撲大会なども参加している。

どこかスポンサーを見つけながら、毎年継続したイベントに取り組むのもよい。

>>スポーツ大会などをどこかの団体と組んではどうか。支援してほしいという団体があればサッカー大会や野球やバレーボールなどもやっているクラブはある。

>>マイナーなスポーツもよいかも。雅楽、太鼓、落語など

(山下会員)・先週の卓話を聞いて、特に青少年交換の受入れが難しくなっていることについては、日本の生活スタイルが大きく変わってきて、人とのかかわりが少なくなっているのも原因ではないかと感じた。

近所付き合いも薄れている時代にオープンに外国人留学生を受け入れる家庭は少なくなっている。一方でグローバル化が叫ばれている中で、また人口減少=子供もどんどん減っていく中で、交換留学生を増やして日本に定住してもらうこと必要である。ただ、その解決策が思いつかない。リアルで大人と接する機会が少ないのが現実であり、本多会員のいうとおり出前講座のような取組みで企業だったりロータリーで職業を紹介したり対話の機会は必要だと思ふ。

(杉浦会員)・青少年との距離感が難しくなっている。先週の卓話でもあったが、握手してはダメ、ハグもダメ、注意を払って一緒に活動しましょう！というのが難しい。いまはハラスメントなどのガイドラインもあるのでよく理解すればわかるといえはわかるが、個人差がある。

・年配の人にジロジロ見られたという理由で来なくなる

ということもある。

スポンサーを増やすといっても、育てないといけない。お互いが距離感を近づけないと。

長年高校生の支援をし、たくさんの OB がいるのに高校生同士のネットワークが育たなかったこともあって、その取組みが繋がらず。消えてしまった。活性化できなかった。

7 番テーブルと 8 番テーブル

伊藤角栄会員



1) ロータリアンが青少年奉仕として実践できるものはどんなものがあると思いますか？又はどんな方法があればいいと思いますか？

・青少年奉仕の奉仕結果がわかりやすく、継続性のある奉仕活動を行うことが重要である。

・青少年との係わりの強い指導者・先生との協働の可能性を探求する。

・子供たちの居場所・環境づくりをするとよい。(豊橋陸上協会等参考例あり)

2) 今後の豊橋ゴールデン RC での青少年奉仕をするには、どんな活動や行動をしたらいいと考えますか？

・単年度制ということもあり、継続性やカラーの変化のバランスを考慮し活動・行動を考えたらどうか。

・子育てを卒業した年代ではなく、今現在子育てをしている PTA などのかかわりがある世代の会員が現在の青少年問題や時代の課題など生の声を取り入れて青少年育成に反映した青少年奉仕活動をしたらどうか。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：本日フォーラムです。伊藤角栄委員長よろしくお願ひ。

神谷 馨：青少年奉仕フォーラムよろしくお願ひ。

伊藤角栄：青少年奉仕委員会担当フォーラムです。活発な意見を頂き今後の青少年奉仕活動に活かして頂きます。

尾崎雅輝・高橋哲也・

飯野益通・廣中雅章・

宮川嘉隆・山下 孝：テーブルリーダーをさせて頂き。

浅井大介：出席報告をさせて頂き。

山口幹夫：本日夕方麻雀大会です。よろしくお願ひ。

井上 穂・松島弘和・小久保拓吏・

青山泰三・村松 光・太田和彦・

酒井正樹：角栄さんがんばって。

山口幹夫：例会参加の送り迎えに感謝しています。

石原聖季：5/17 が大谷の日に制定され、その日に父親がはまり 82 歳の誕生日を迎えました。

岡本久永：本日早退させて頂き。ごめんなさい。

太田和彦：ロータリーバッジまた忘れました。

鵜殿健次：ニコボックスを発表させて頂き。

鵜殿健次ニコボックス委員

★幹事報告

・2024-25 年度地区大会実行委員会事務局開設のご案内が届いております。

・本日よりクールビズです。よろしくお願ひ。

★他クラブの例会変更

■6月7日(金) 蒲 郡 RC 早朝例会

■6月11日(火) 宝 飯 RC 会場都合のため

田原パ RC 能登半島支援例会